

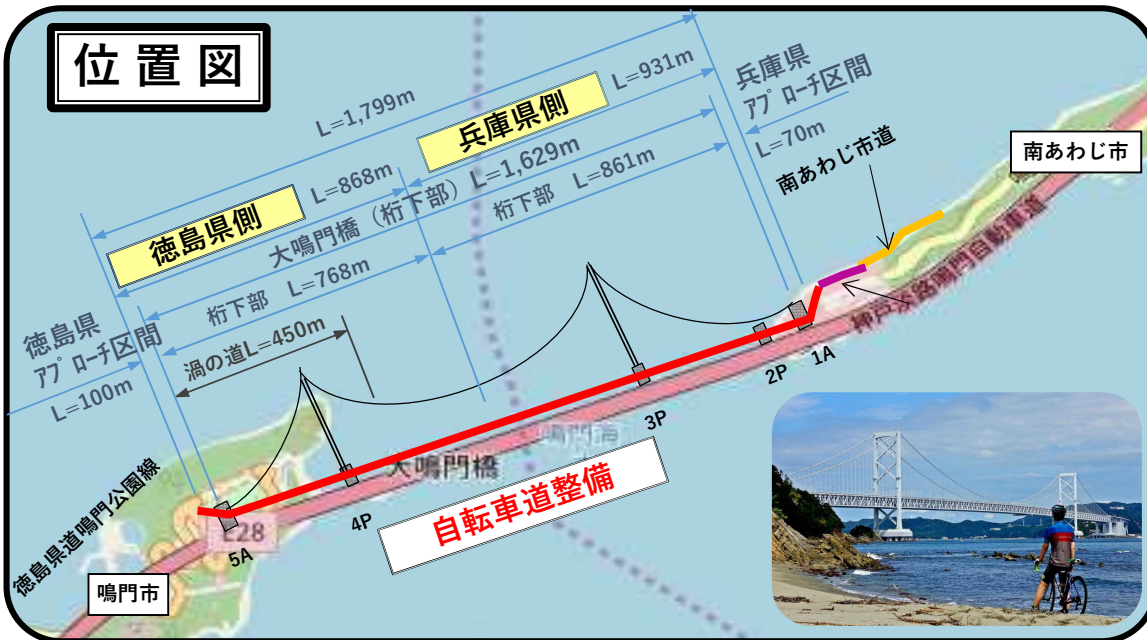
事業概要

- 事業区間：徳島県鳴門市～兵庫県南あわじ市
 - 延 長：約1.8 k m
(徳島県0.87 k m、兵庫県0.93 k m)
 - 計画幅員：4.0m (標準部)
(自転車道2.5m + 歩道1.5m)
 - 総事業費：58億円
(徳島県28億円、兵庫県30億円)
 - 事業期間：令和5年度～令和9年度
 - 利用見込：約65～75万人/年 (渦の道含む)
(内、サイクリスト約9万人/年)
- 〈参考 渦の道利用者数 約55万人/年 (令和元年) 〉

検討状況・スケジュール

- 平成30年度 検討開始
- 令和4年度 基本設計完了
- 令和5年9月 風洞試験による耐風安定性確認
- 令和5年10月 本四高速と工事委託契約締結
- 令和5年11月 自転車道本体の工事公告
- 令和6年中 工事着手予定
- 令和9年度 完成予定

位置図



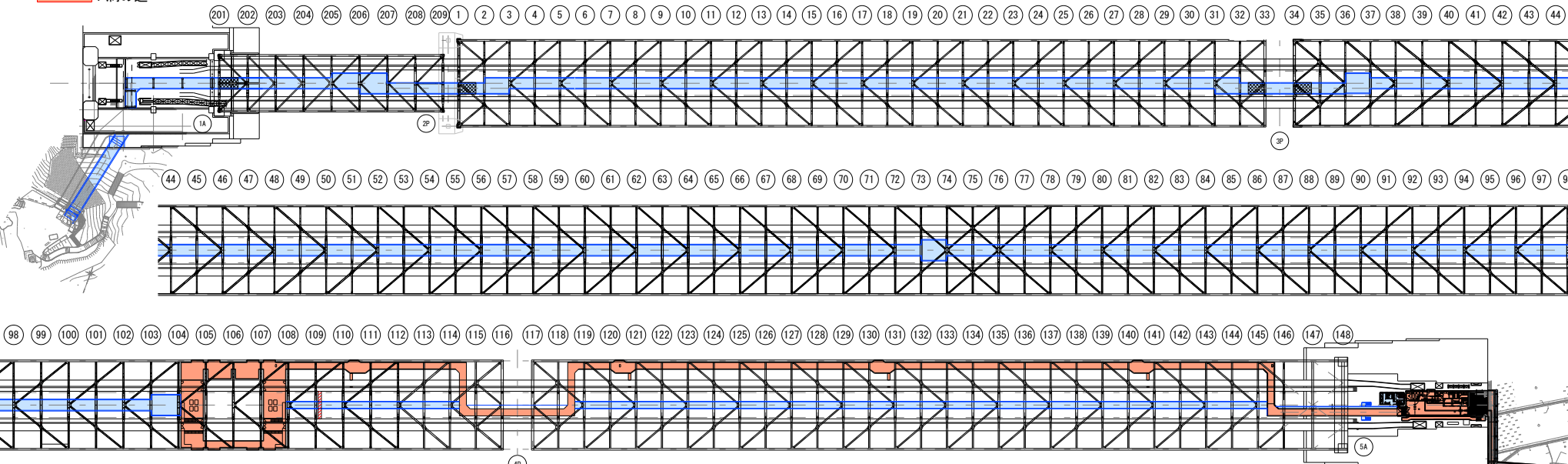
目的

- 交流人口の拡大 (鳴門海峡の往来)
- 観光振興の推進 (サイクルツーリズムの推進)
- 自転車人口の拡大



大鳴門橋自転車道 全体配置平面図

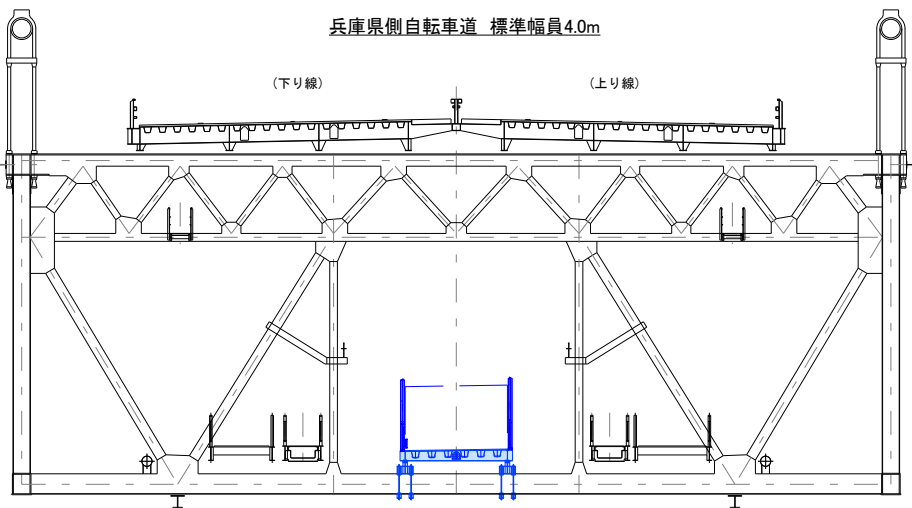
■ : 自転車道設置による増築範囲
■ : 渦の道



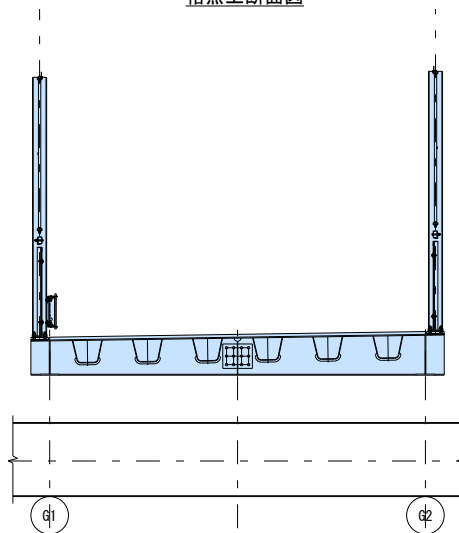
兵庫県側自転車道 標準幅員4.0m

(下り線)

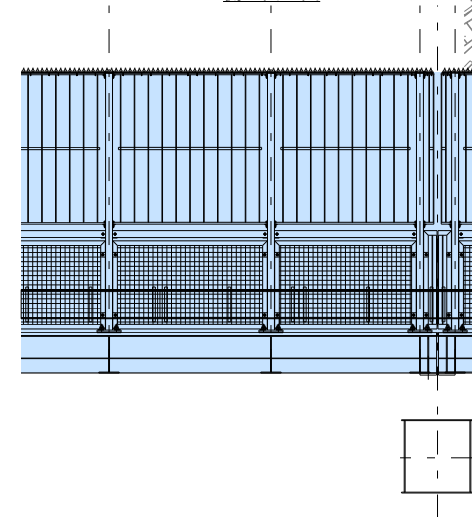
(上り線)



格点上断面図



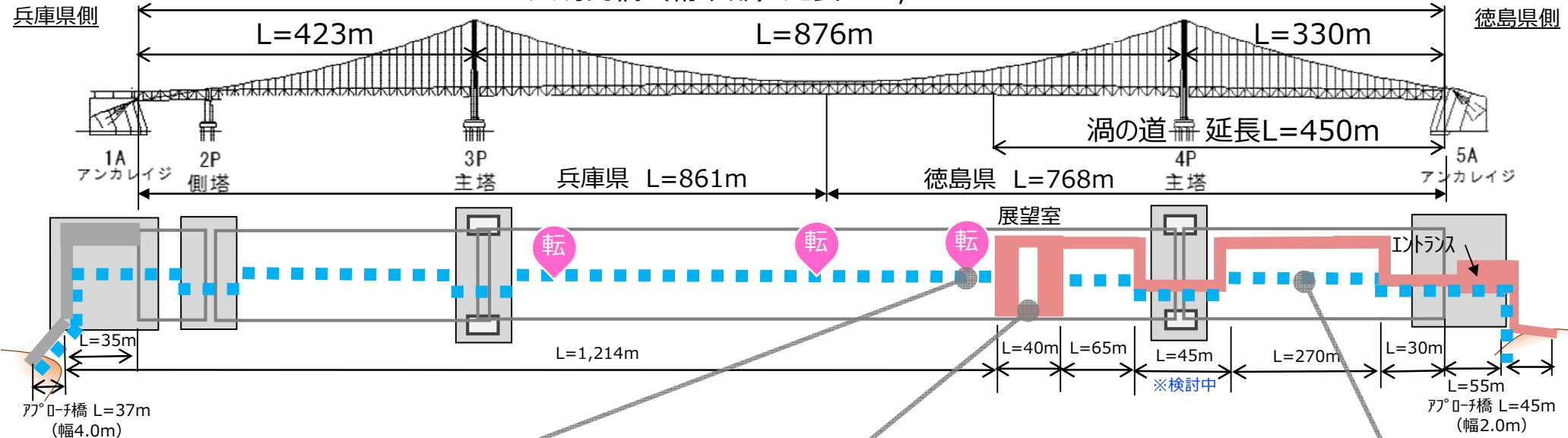
側面図



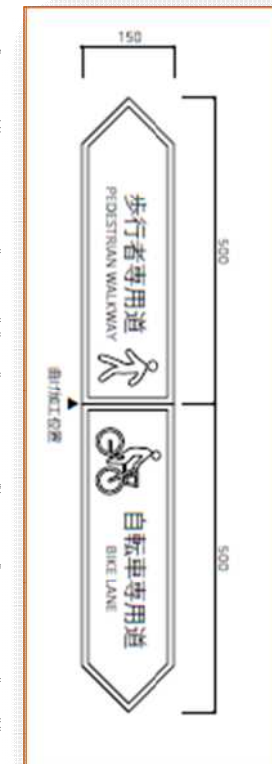
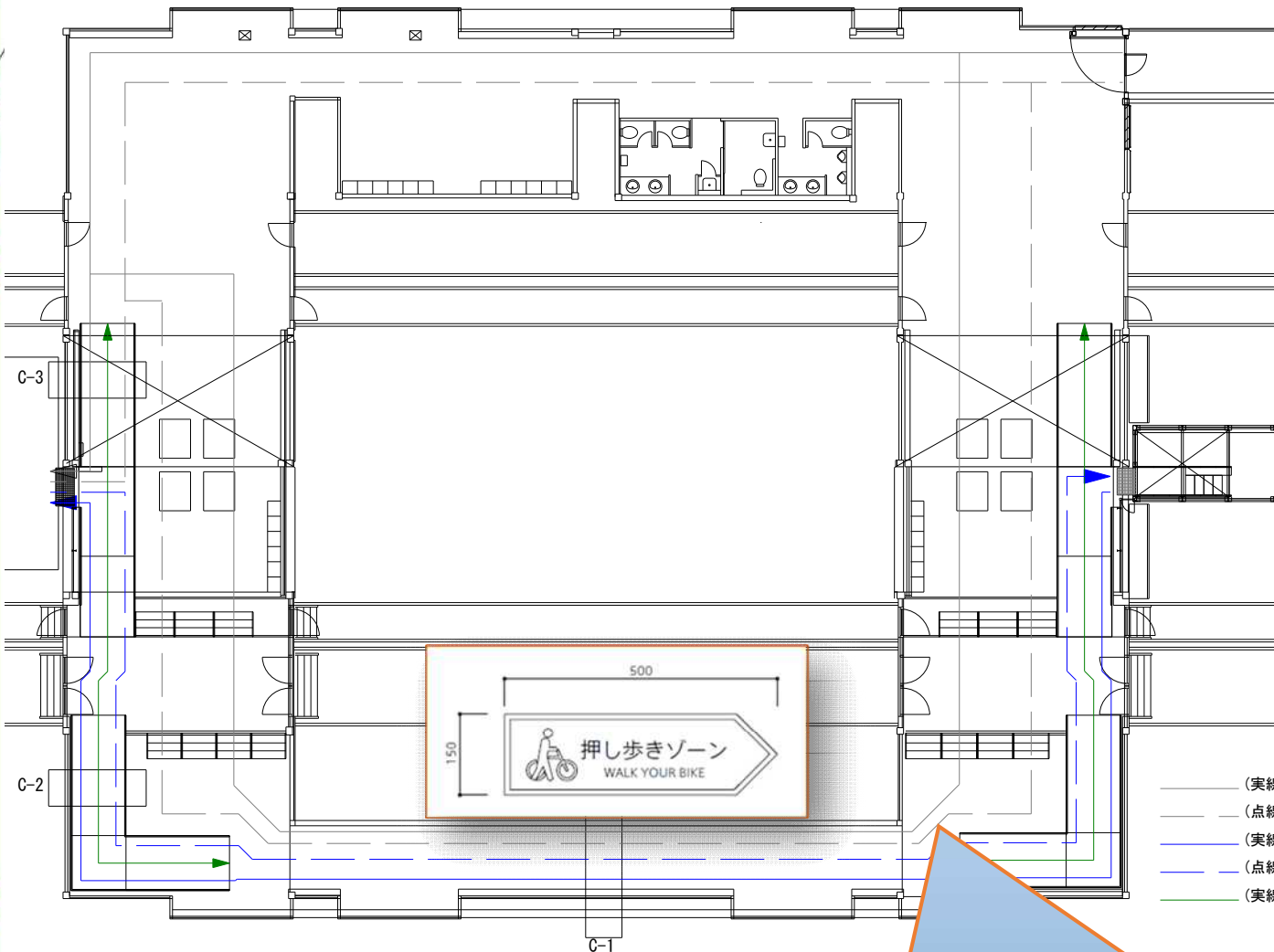
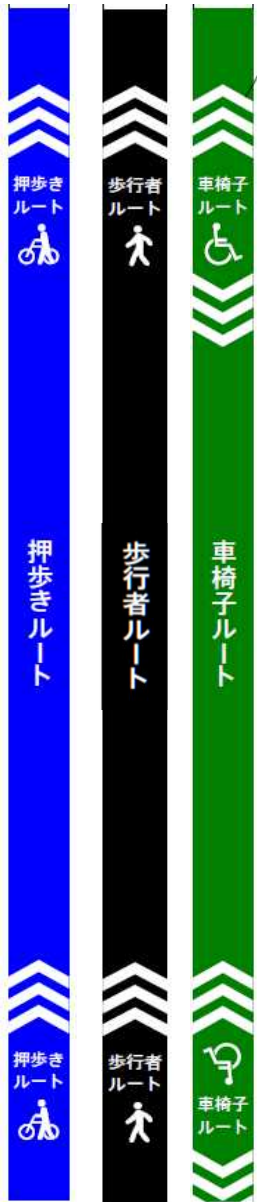
※図面は現時点のもので、今後変更の可能性があります。

大鳴門橋自転車道の施設概要

大鳴門橋（桁下部）延長L=1,629m



- ～ 大鳴門橋自転車道検討部会等での意見 ～
- 展望室、緊急車両転回所（展望所）の魅力アップが必要
 - ⇒ 「押し歩きたい」と思わせる仕掛け、「押し歩きしやすく」する工夫
 - ⇒ 休憩しながら景色が楽しめる工夫



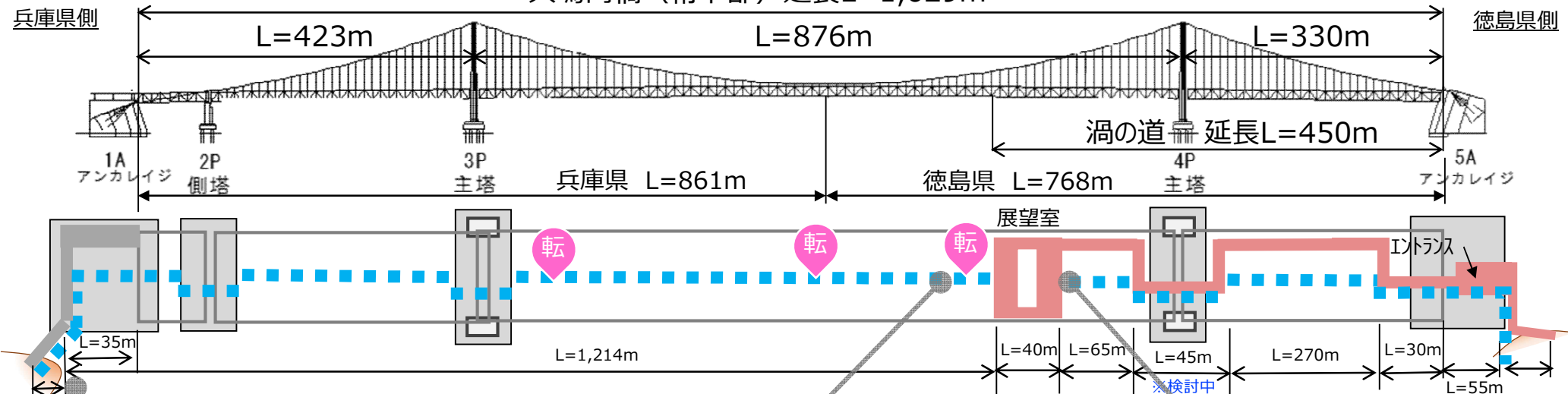
- (実線) : 歩行者ルート 渦の道→淡路島側自転車道
- - - (点線) : 歩行者ルート 淡路島側自転車道→渦の道
- (実線) : 押歩きルート 渦の道→淡路島側自転車道
- - - (点線) : 押歩きルート 淡路島側自転車道→渦の道
- (実線) : 車椅子ルート

~ 検討内容 ~
 ➤ 案内誘導に効果的なフロアサインなどの設置を検討

※図面は現時点のもので、今後変更の可能性があります。

大鳴門橋自転車道の施設概要

大鳴門橋（桁下部）延長L=1,629m



アプローチ橋
L=37m
(幅4.0m)



アプローチ橋
L=45m
(幅2.0m)

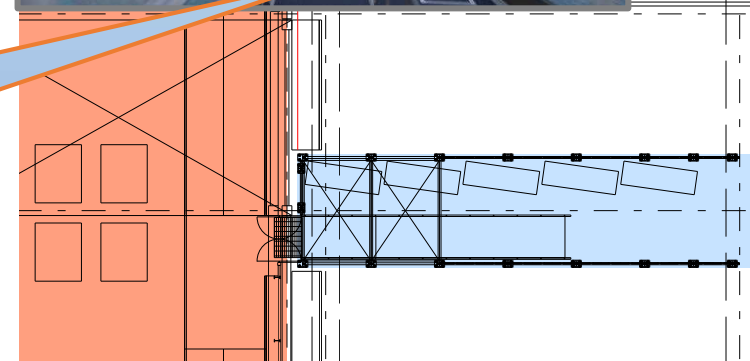
～ 大鳴門橋自転車道検討部会等での意見 ～

➤ 展望室に隣接した駐輪場が必要

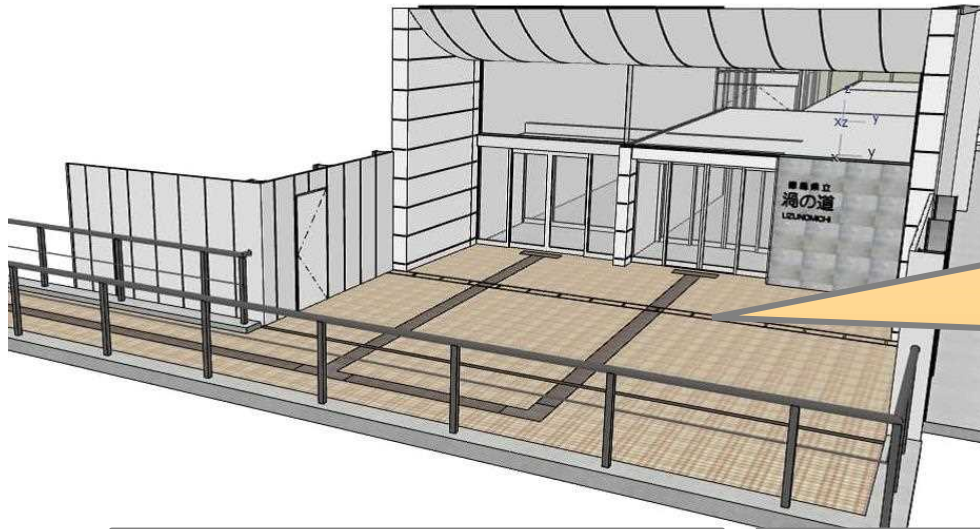
～ 検討内容 ～

➤ 展望室隣接の徳島側L=65m区間を駐輪エリアとして計画

※兵庫県側は緊急車両の転回所とするため、不可



※図面は現時点のもので、今後変更の可能性があります。



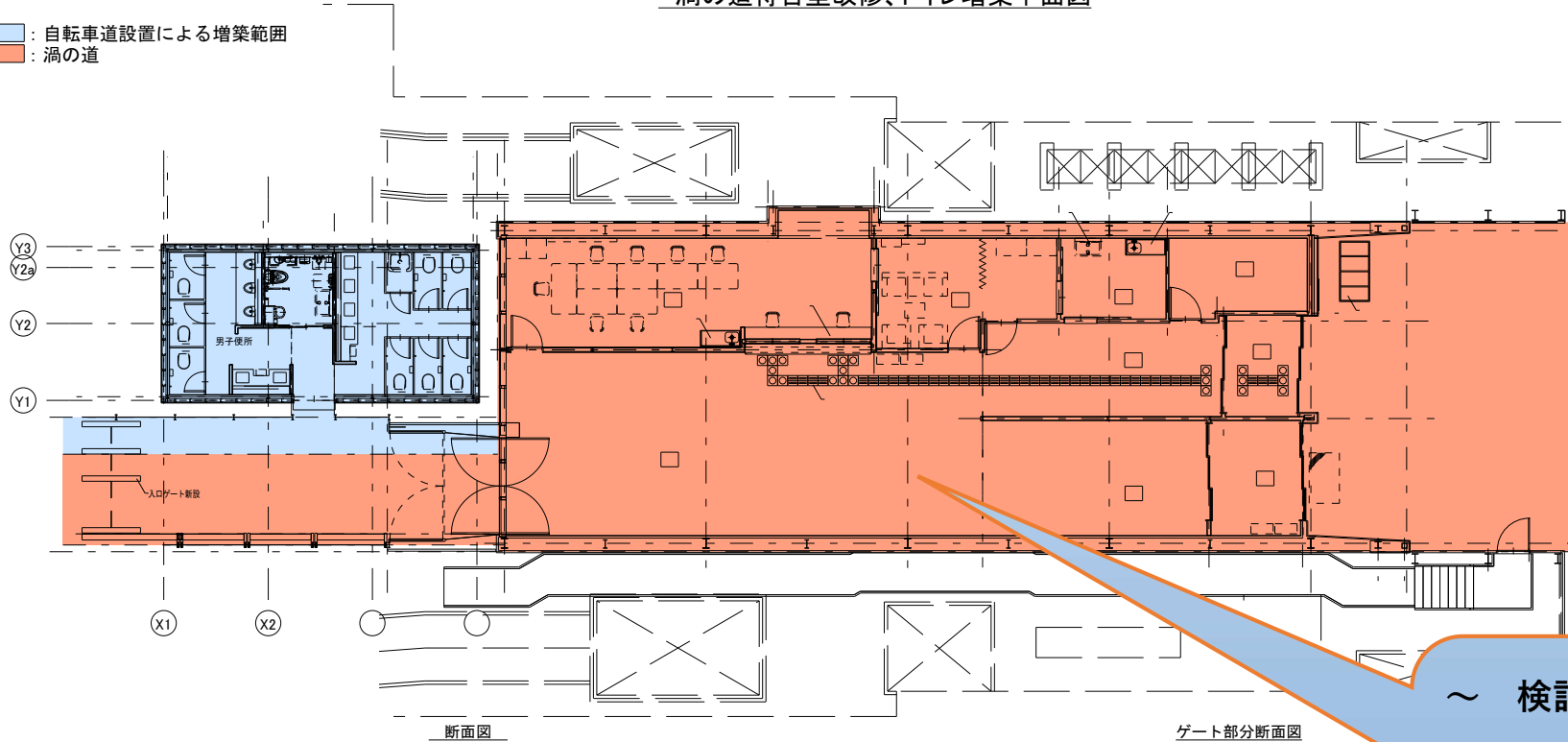
～ 大鳴門橋自転車道検討部会等での意見 ～

- 「渦の道」エントランス部において、利用者増に対応するため、出入口の拡幅が必要



渦の道待合室改修、トイレ増築平面図

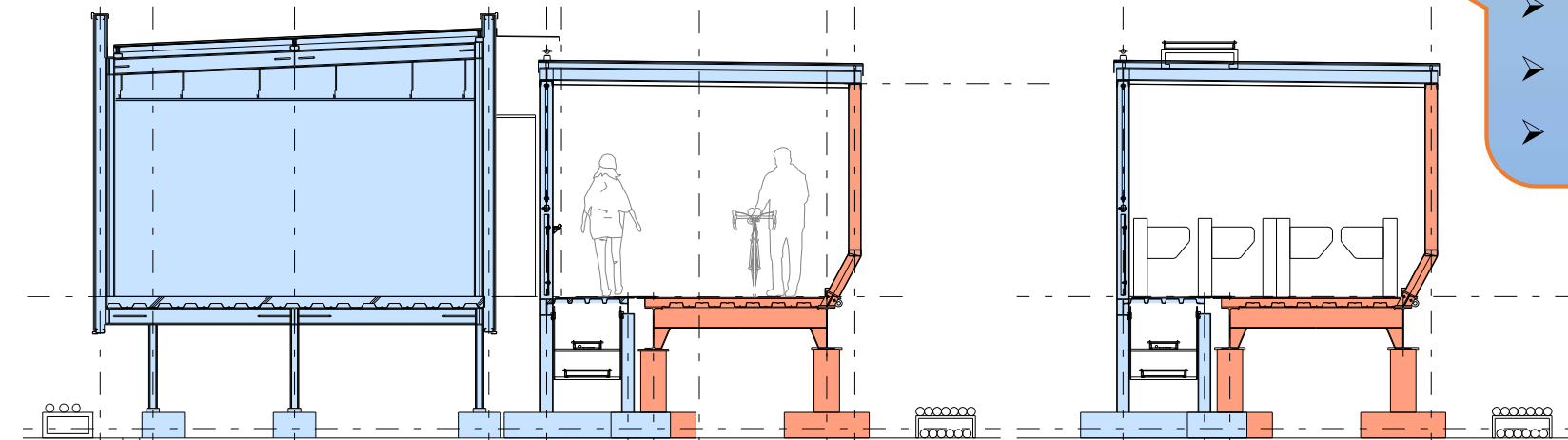
■ : 自転車道設置による増築範囲
■ : 渦の道



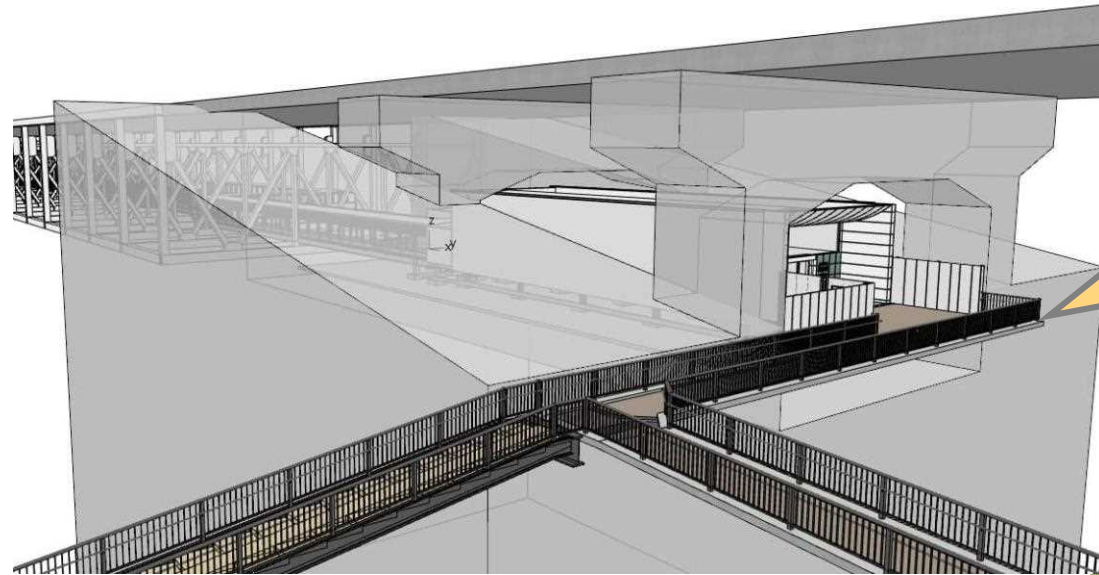
断面図

ゲート部分断面図

- ～ 検討内容 ～
- 出入口の増設
 - 待合室の改修
 - ゲート設備の追加等

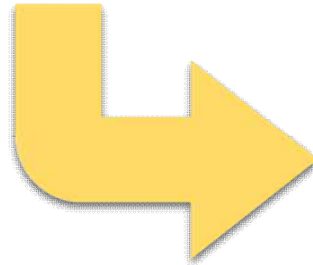


※図面は現時点のもので、今後変更の可能性があります。



- ～ 大鳴門橋自転車道検討部会等での意見 ～
- 自転車と人が混在する「渦の道」アプローチ橋の改善が必要

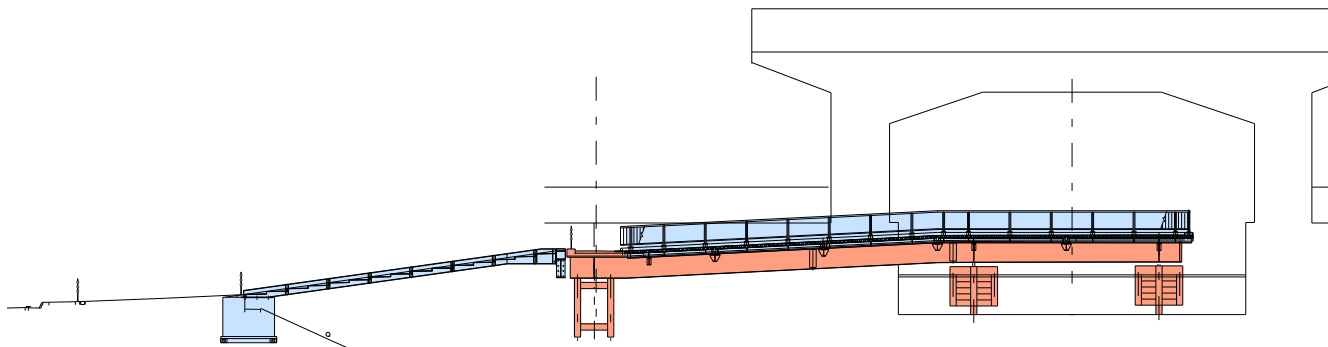
一部新設（県道まで延伸）
(W=約2m)



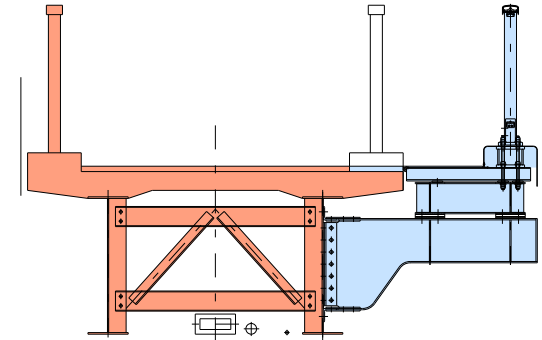
5Aアプローチ橋拡幅一般図

側面図

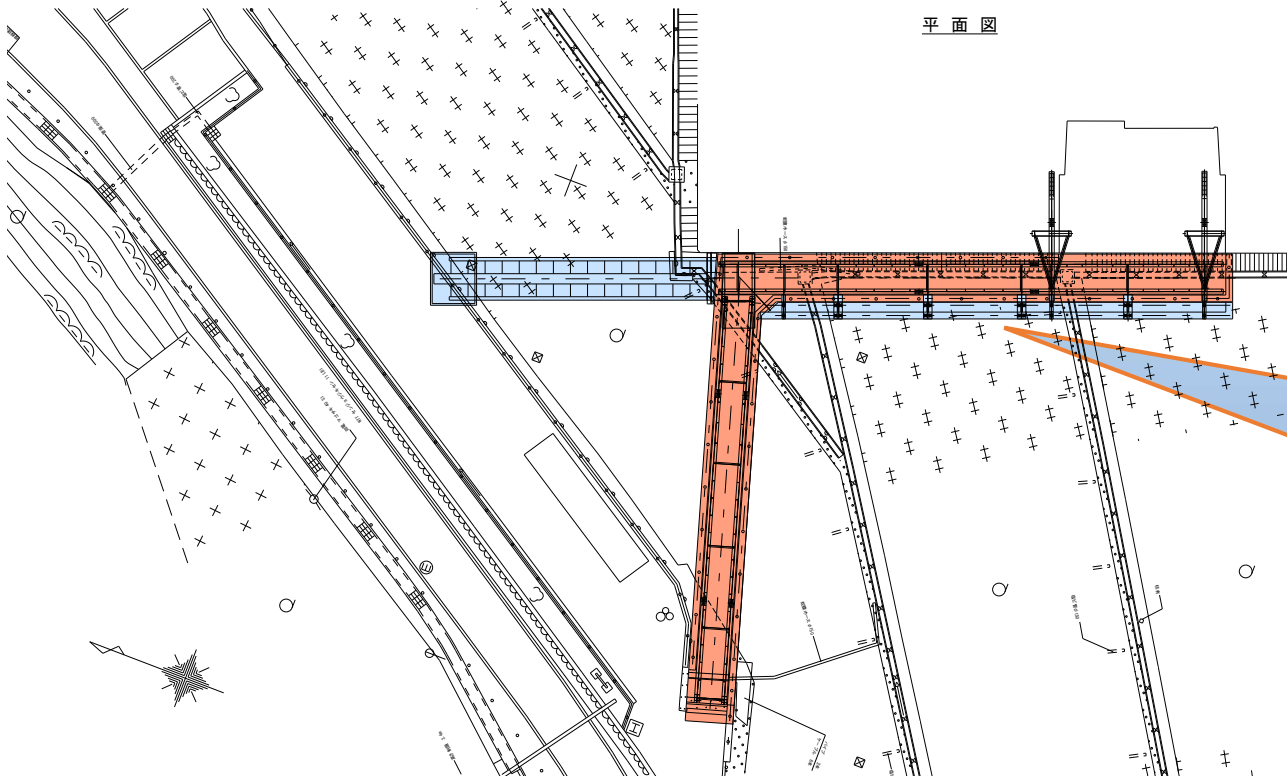
■ : 自転車道設置による増築範囲
■ : 渦の道



断面図



平面図



～ 検討内容 ～

- 一部拡幅、一部新設
- クリート靴を考慮し、滑りにくく耐久性のある舗装

- 自転車の押歩き占有幅 $W = 80\text{cm}$ (自転車の最大幅 $W = 60\text{cm}$ 程度) を目安
 - ⇒ 対面通行が多い場合の通路幅 $W = 180\text{ cm}$ 程度が必要 ※自転車等駐車場設置技術の手引きを参考
- 想定される車種



- 渦の道での実証実験 幅員 $W = 2.0\text{m}$



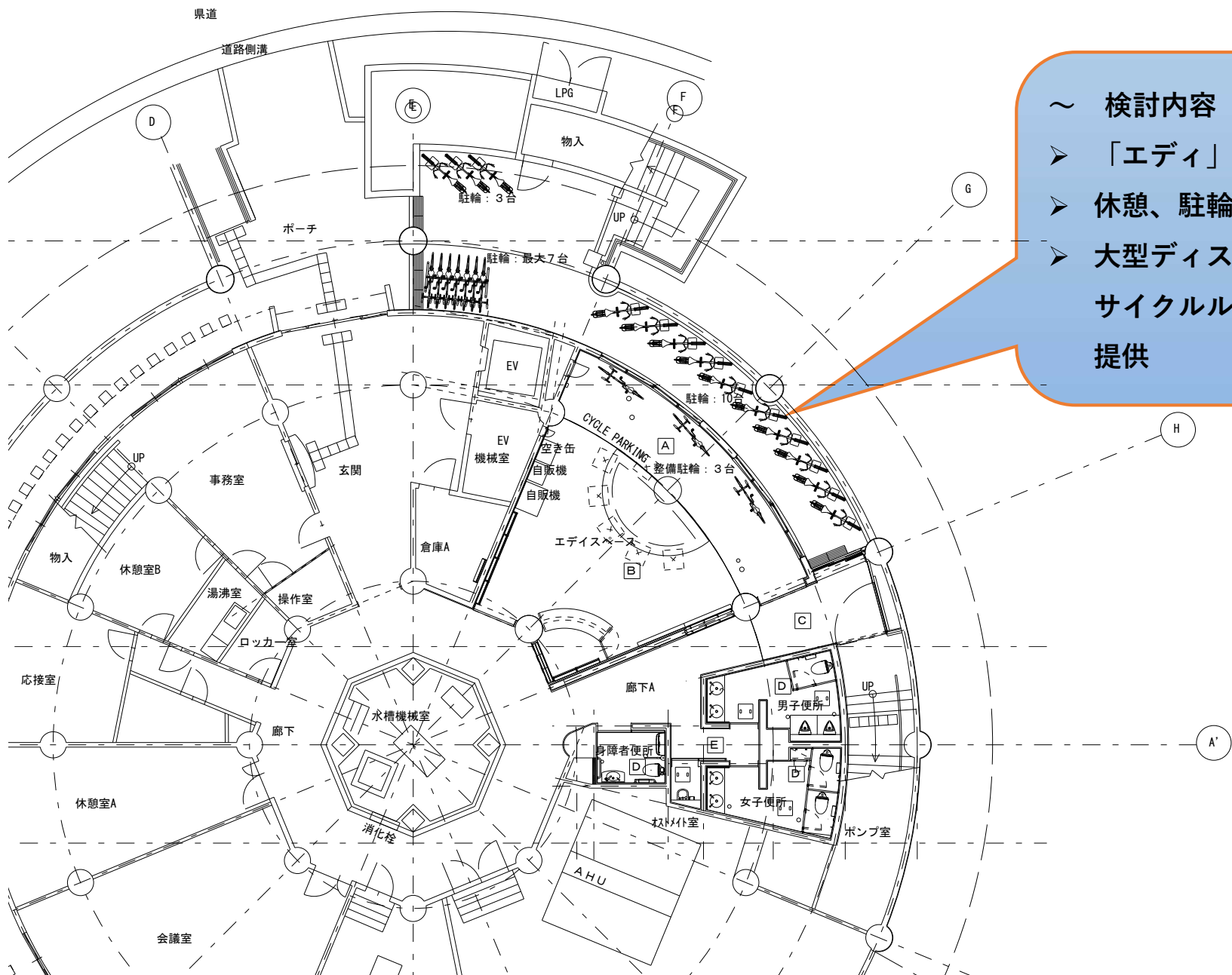
～ 大鳴門橋自転車道検討部会等での意見 ～

- インバウンド客が利用する自転車を考慮する必要
 - ⇒ 自転車幅 60cm を超える車種を想定
 - ⇒ 押歩き占有幅 $W = 100\text{cm}$ 程度までの車両も検討
 - ⇒ 開業までに議論、開業後も見直し



- ～ 大鳴門橋自転車道検討部会等での意見 ～
- サクリストの受入拠点となる「サイクルステーション」が必要





- ～ 検討内容 ～
- 「エディ」を改修
 - 休憩、駐輪スペースを追加
 - 大型ディスプレイを設置してサイクルルートや観光情報を提供

最後にP Vをご覧ください

